

# 新たなタイプの学校（idealスクール） の新設について

○これまでの検討経過

	項目	主な内容
H31.2	第3期県立学校将来構想への掲載	「学び直しをはじめとした様々なニーズに応える新たなタイプの学校の設置を検討します。」
R2.2	県立高等学校将来構想審議会「県立高等学校における多様な学びの在り方について」（答申）	<p>&lt;学校のコンセプト&gt;</p> <p>①多様な学びの機会を提供し、高校での学習や学校活動を通じて、社会的自立に必要な能力を持った生徒を育成する。</p> <p>②学習面、情動面双方で個別最適化の視点を重視し、学習者中心の支援を行って、生徒が意欲的、自律的に学べる学校づくりをする。</p>
R2.7	第3期県立学校将来構想第1次計画への掲載	<p>「学校生活や学習に困難さを抱える生徒が、充実した学校生活を送るためには、学習に対する支援をはじめとした学校生活全般に関する支援体制の構築が必要です。このことから、時代や社会の変化、生徒のニーズを踏まえて、以下のような「新たなタイプの学校」の設置について検討します。」</p> <p>&lt;学校のコンセプト&gt;</p> <p>多様な学びの機会を提供し、高校での学習や学校活動を通じて、社会的自立に必要な能力を持った生徒を育成する。</p> <p>学習面、情動面双方で個別最適化の視点を重視し、学習者中心の支援を行って、生徒が意欲的、自律的に学べる学校づくりをする。」</p>
R4.1	令和3年度第1回県立高等学校将来構想審議会への意見聴取	各委員からの意見で、発達障害への支援、探究学習、体験的学び、協働的学び、学校間連携等の必要が指摘された。
R4.12	令和4年度第2回県立高等学校将来構想審議会への意見聴取	各委員から、学校のコンセプトへの大きな期待や特色を高く評価する意見があった一方、教員の負担、実現可能性への懸念、居場所カフェ、入試制度の検討の必要性等が指摘された。
R5.3	第3期県立学校将来構想第2次計画への掲載	<p>「生徒の能力・適性や興味・関心、進路希望が多様化する中で、生徒の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸ばすための学校づくりが必要です。また、学校生活や学習に困難さを抱える生徒を含め、様々な生徒が充実した学校生活を送るためには、学習に対する支援をはじめとした学校生活全般に関する支援体制の構築が必要です。このことから、時代や社会の変化、生徒のニーズを踏まえて、以下のような「新たなタイプの学校」の設置について検討します。」</p> <p>&lt;学校のコンセプト&gt;</p> <p>「個々に応じた多様な学び方を提供することにより、生徒自らが高校生活をデザインし、夢や希望を実現することができる学校」</p>
R5.5	新たなタイプの学校に係る検討会議、教育課程・入試制度ワーキンググループを設置	<p>対象校管理職等を含む教育庁内横断的な組織で、教育内容と教育課程、開設時期、校舎長寿命化改修の方法と時期、予算、入試方法等を検討。</p> <p>教育課程ワーキンググループでは、大学の研究者の協力を得ながら検討を進めたほか、先進事例の視察等を実施。</p>

○新たなタイプの学校 (idealスクール) 教育基本構想 (案) の概要

**1 設置の背景と基本理念**

○生徒の興味・関心、進路希望の多様化  
 ○様々な背景を抱えた生徒の増加 (学校生活や学習に困難を抱える生徒など)

↓

○新たなタイプの学校の基本理念  
**個に応じた多様な学びと、学習者中心の支援により、生徒の自律的な学びの実現と、将来の社会的自立に必要な資質・能力の育成を目指す。**

**2 新たなタイプの学校の概要**

○設置場所等 宮城広瀬高等学校を新たなタイプの学校に転換し、令和9年度に開校(予定)  
 ※宮城広瀬高等学校は令和9年度に募集を停止し、令和10年度末で閉校

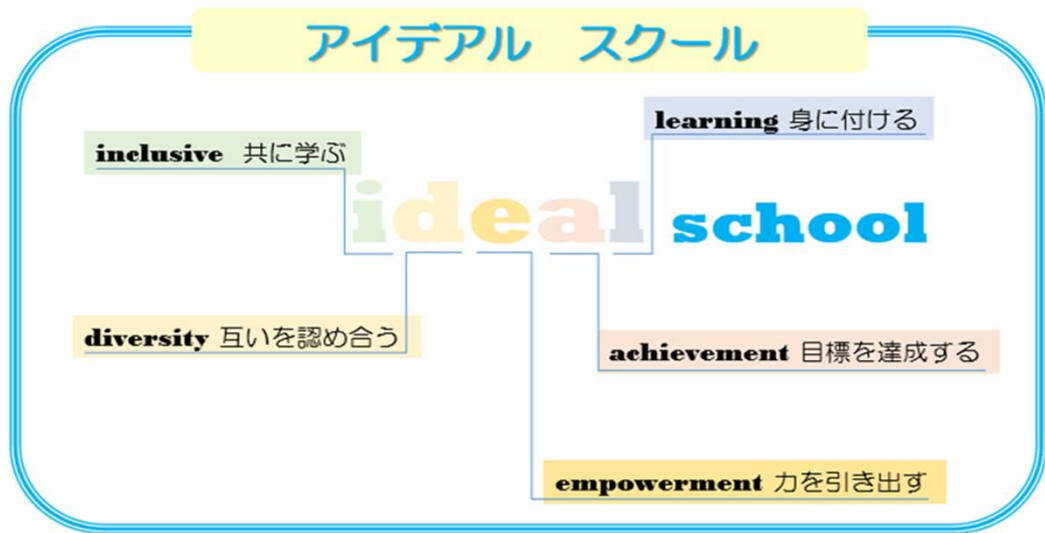
○募集定員 200名

○設置課程等 全日制・普通科・単位制

**3 求める生徒像**

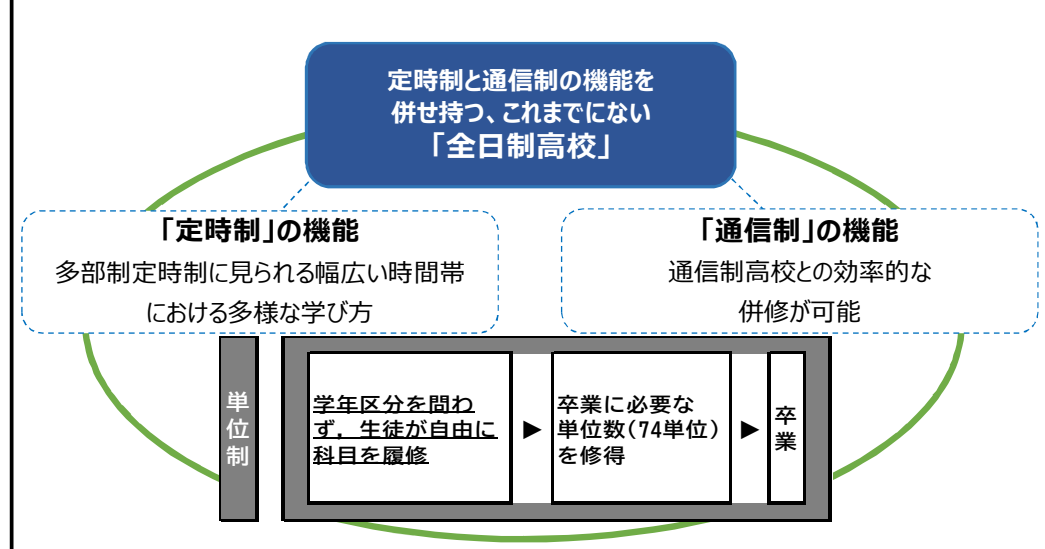
○次のような、多様な生徒を求めます

大学進学等の進路希望を実現するため、自分のペースで学びたい	集団生活や対人関係に不安を感じているが、自分の適性に合わせて学びたい
興味関心や適性に合わせ自己決定しながら柔軟に学びたい	学習のつまずきの解消のため、基礎基本に戻って学びたい
音楽活動やスポーツ等のため自由な時間を持ちながら学びたい	不登校を経験したが、自分の状況に合わせて学びたい



idealとは「理想、理想的」という意味の英単語ですが、ここでは、各単語の頭文字を合わせた造語としての意味を重ねています。さらには、目指す教育の実現のために、多くのアイデア (idea)、工夫を追求していくという思いが込められています。

**4 学校の位置付け**



## 5 学校の特徴

### I フレキシブルな学び方

- (1) 単位制の導入
- (2) 幅広い授業時間帯の設定
- (3) 通信制高校との併修
- (4) 資格取得、ボランティア等を単位として認定

### II 魅力ある学び

- (1) 探究的な学び
- (2) ICTを活用した学び
- (3) 地域等と連携した学び
- (4) 多様な人材を活用した学び

idealスクール

### III 多様な教科・科目

- (1) 多様な進路希望に応じた教科・科目
- (2) 学び直しのための教科・科目
- (3) 習熟度別授業の導入

### IV サポート体制の充実

- (1) チューター制の導入
- (2) 多様なスタッフ（スクールカウンセラー・ソーシャルワーカー、地域人材・NPO等）による支援

## 6 幅広い授業時間帯

- 1～8校時の幅広い授業時間帯を設定し、生徒自身の生活スタイル、興味・関心等に応じて、主体的な授業選択が可能

1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時	8校時
主に選択教科・科目		コアタイム(主に必修教科・科目を設置) LHR及び総合的な探究の時間等も含む				主に選択教科・科目	

	1	2	3	4	5	6	7	8
	多様な教科・科目		必修科目				多様な教科・科目	
月		選	必	必	必	必		
火	選	選	必	必	必	必		
水			必	必	必	必	選	
木			必	必	必		選	
金		選	必	必	必	必		
	コアタイム							

## 7 多様な教科・科目

- 多様な科目の設置に加え、資格取得やボランティア、他の高校での科目履修などの学校外学修等を幅広く単位として認定
- 将来の社会的自立に必要な資質・能力の育成に繋がる学びや多様な人材を活用した学びなど、魅力ある学びを実施

### 設置する科目の視点

- 国公立大学受験に対応した学び
- 教養を深める学び
- 多様な興味・関心に応じた学び

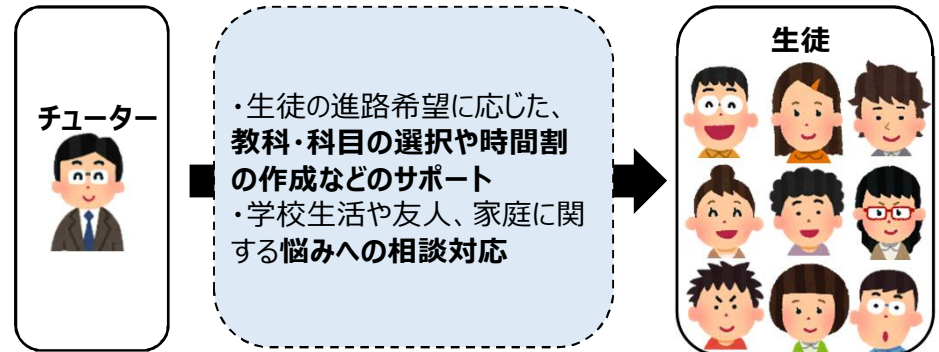
学び直しにも対応

### 多様な進路の実現

大学進学 専門学校 就職

## 8 充実したサポート体制

- 従来の「学級」は置かず、チューター制を導入



生徒の希望する進路の実現や目標の達成

- 地域人材やNPO等とも協力してさまざまな側面からサポート体制を構築
- ICTを活用した生徒との連絡体制を構築